

## 平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 日東エフシー株式会社  
 コード番号 4033 URL <http://nittofc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 要  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 杉本 智  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 東 名

TEL 052-661-4381

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	6,509	—	907	—	1,007	—	623	—
20年9月期第1四半期	3,843	△20.7	305	6.7	389	6.0	262	18.5

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	21.56	—	—	—
20年9月期第1四半期	9.06	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	46,965	37,720	37,720	80.3	1,307.90	1,307.90	
20年9月期	45,078	37,738	37,738	83.7	1,301.48	1,301.48	

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 37,720百万円 20年9月期 37,738百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	8.00	—	12.00	20.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,750	52.1	1,240	21.2	1,360	17.7	810	10.4	27.98
通期	27,000	31.0	2,000	△21.3	2,200	△21.4	1,320	△9.5	45.60

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第1四半期	29,201,735株	20年9月期	29,201,735株
② 期末自己株式数	21年9月期第1四半期	361,552株	20年9月期	204,889株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年9月期第1四半期	28,946,160株	20年9月期第1四半期	28,999,472株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における業績は、主力の肥料事業におきましては、昨年実施された製品基準価格の大幅値上げによる採算の改善に加え、前期からのずれ込みを含めた需要の積み上がりにより販売数量でも前年同期を上回ったことから、価格と数量の相乗効果により大幅増収増益となりました。

一方、不動産等事業におきましては、国内景気の減速が進行する中で前期並みの実績にとどまりましたものの、化学品事業では、工業用原料の輸入販売について、大口需要先向取引が重なったことにより増収増益を実現しました。

これらにより、全体としても肥料部門が主導する形で大幅増収増益を確保し、売上高65億9百万円（前年同期比69.3%増）、営業利益9億7百万円（前年同期比196.6%増）、経常利益10億7百万円（前年同期比158.8%増）、四半期純利益6億23百万円（前年同期比137.5%増）となりました。

※前年同期比増減率は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの総資産は、前連結会計年度末に比べ18億86百万円増加し469億65百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が22億47百万円、たな卸資産が16億35百万円増加したことや、現金及び預金が13億円55百万円、有価証券が9億円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ19億5百万円増加し92億45百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が21億42百万円増加したことや、未払法人税等が5億63百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が2億75百万円、自己株式が72百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が2億22百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し377億20百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.3%（前連結会計年度末83.7%）となりました。

利益剰余金の変動状況につきましては、当期純利益の計上により6億23百万円増加し、配当金の支払いにより3億47百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ2億75百万円増加し214億66百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13億55百万円減少し、45億25百万円（前連結会計年度末比23.1%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における営業活動による資金の減少は、12億82百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に減価償却費を加えた資金の源泉が11億2百万円ありましたが、仕入債務の増加から売上債権及びたな卸資産の増加を差し引いた資金の減少が17億40百万円、法人税等の支払により8億33百万円それぞれ資金の減少があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における投資活動による資金の増加は、3億53百万円となりました。これは主に、債券の償還による収入、名古屋市中区丸の内に建設中の賃貸用オフィスビルに係る支出があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における財務活動による資金の減少は、4億20百万円となりました。これは、配当金の支払及び自己株式の取得によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、上述のとおり、主力の肥料事業での好調を主因に前期比大幅増収増益となり、計画を上回るペースで進捗しておりますが、昨年半ばまで急騰した主要輸入原料のうち、昨秋以降大幅下落に転じているものもあることや、先安感に基づくユーザーの買い控えの動き等、前例のないほど不安定な今後の価格・需要動向次第で業績がぶれる可能性も見込まれ予測が困難なことから、平成20年11月14日に発表の業績予想を据え置きとさせていただきます。

なお、今後の業績予想についての合理的見積もりが可能となりました時点で対応いたします。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①簡便な会計処理

該当事項はありません。

## ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ・会計基準等の改正に伴う変更

## ①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

## ③「リース取引に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成19年3月30日改正の「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第16号)を早期適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,526,104	5,881,779
受取手形及び売掛金	7,970,476	5,722,915
有価証券	2,392,866	3,293,648
商品及び製品	3,481,872	2,310,687
仕掛品	288,088	294,826
原材料及び貯蔵品	2,647,480	2,176,469
その他	461,724	370,333
貸倒引当金	△3,792	△2,390
流動資産合計	21,764,821	20,048,271
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,696,065	13,696,065
その他(純額)	5,095,785	4,656,624
有形固定資産合計	18,791,850	18,352,689
無形固定資産	696,259	703,830
投資その他の資産		
投資有価証券	4,655,315	4,992,087
その他	1,074,824	996,126
貸倒引当金	△17,831	△14,673
投資その他の資産合計	5,712,308	5,973,541
固定資産合計	25,200,417	25,030,061
資産合計	46,965,239	45,078,332
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,091,690	2,948,785
未払法人税等	190,343	753,778
賞与引当金	114,928	230,306
役員賞与引当金	—	32,300
その他	1,688,808	1,082,175
流動負債合計	7,085,771	5,047,346
固定負債		
退職給付引当金	58,381	56,923
役員退職慰労引当金	171,016	213,253
負ののれん	13,348	17,797
その他	1,916,652	2,004,073
固定負債合計	2,159,398	2,292,047
負債合計	9,245,170	7,339,393

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,410,675	7,410,675
資本剰余金	9,101,068	9,101,232
利益剰余金	21,466,581	21,190,591
自己株式	△193,270	△121,065
株主資本合計	37,785,055	37,581,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△64,986	157,506
評価・換算差額等合計	△64,986	157,506
純資産合計	37,720,068	37,738,939
負債純資産合計	46,965,239	45,078,332

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	6,509,650
売上原価	5,041,386
売上総利益	1,468,263
販売費及び一般管理費	561,040
営業利益	907,223
営業外収益	
受取利息	15,394
受取配当金	17,256
負ののれん償却額	4,449
持分法による投資利益	20,575
為替差益	63,986
保険配当金	37,285
その他	23,921
営業外収益合計	182,867
営業外費用	
支払利息	63
デリバティブ評価損	80,873
その他	1,848
営業外費用合計	82,786
経常利益	1,007,304
特別利益	
固定資産売却益	880
特別利益合計	880
特別損失	
固定資産売却損	56
投資有価証券評価損	28,588
その他	2,001
特別損失合計	30,645
税金等調整前四半期純利益	977,540
法人税、住民税及び事業税	281,116
法人税等調整額	72,471
法人税等合計	353,587
四半期純利益	623,952

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	977,540
減価償却費	125,115
負ののれん償却額	△4,449
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,561
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△115,377
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,458
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△42,236
受取利息及び受取配当金	△32,650
支払利息	63
持分法による投資損益 (△は益)	△20,575
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,247,561
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,635,456
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,142,904
前受金の増減額 (△は減少)	231,339
その他	164,145
小計	△483,478
利息及び配当金の受取額	34,284
利息の支払額	△63
法人税等の支払額	△833,367
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,282,624
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	△2,391,313
有価証券の売却による収入	3,296,149
有形固定資産の取得による支出	△558,353
有形固定資産の売却による収入	1,525
投資有価証券の取得による支出	△1,041
投資有価証券の売却による収入	7,200
保険積立金の積立による支出	△149,835
保険積立金の払戻による収入	150,178
その他	△1,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	353,000
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△72,630
配当金の支払額	△347,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,355,675
現金及び現金同等物の期首残高	5,880,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,525,104

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

項目	肥料事業 (千円)	不動産等 事業(千円)	化学品 事業(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,310,929	512,443	1,686,277	6,509,650	(—)	6,509,650
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	50,435	—	50,435	(50,435)	—
計	4,310,929	562,878	1,686,277	6,560,085	(50,435)	6,509,650
営業利益	683,397	245,036	104,445	1,032,878	(125,655)	907,223

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分により肥料事業(化成肥料、配合肥料、ペレット肥料、液体肥料、水耕栽培専用肥料、過りん酸石灰、肥料用原料、その他肥料)、不動産等事業(オフィスビル、ビジネスホテル、倉庫・店舗・駐車場の賃貸、運輸・倉庫業)及び化学品事業(工業用原材料、その他)に分類しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## (1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
I 売上高	3,843,971
II 売上原価	2,966,038
売上総利益	877,932
III 販売費及び一般管理費	572,028
営業利益	305,904
IV 営業外収益	87,788
V 営業外費用	4,486
経常利益	389,206
VI 特別利益	25,448
VII 特別損失	629
税金等調整前四半期純利益	414,025
税金費用	151,328
四半期純利益	262,696

## (2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	414,025
2 減価償却費	127,496
3 長期前払費用償却費	15,464
4 売上債権の増減額(増加：△)	661,540
5 たな卸資産の増減額(増加：△)	△1,184,211
6 仕入債務の増減額(減少：△)	482,688
7 その他	△358,424
小計	158,579
8 利息及び配当金の受取額	38,067
9 法人税等の支払額	△193,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,887
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有価証券の取得による支出	△1,697,111
2 有価証券の売却等による収入	1,798,124
3 有形固定資産の取得による支出	△40,736
4 有形固定資産の売却による収入	50,950
5 投資有価証券の取得による支出	△500,973
6 投資有価証券の売却等による収入	500,000
7 投資事業組合の分配による収入	1,180
8 その他(純額)	△13,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,457
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 自己株式の取得による支出(純額)	△630
2 配当金の支払額	△231,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,628
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△179
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△132,462
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,895,033
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,762,571

## (3) セグメント情報

## 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

項目	肥料事業 (千円)	不動産等 事業(千円)	化学品 事業(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,496,489	513,169	834,312	3,843,971	(—)	3,843,971
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52,841	—	52,841	(52,841)	—
計	2,496,489	566,011	834,312	3,896,812	(52,841)	3,843,971
営業費用	2,355,608	340,642	780,214	3,476,465	61,601	3,538,067
営業利益	140,880	225,368	54,098	420,347	(114,443)	305,904